

～私が作る平和な世界～

高草木 祐

そもそも、平和とは何なのか。調べてみると、平和とは、戦争や暴力で社会が乱れていない状態のことらしい。世界はそのために紛争の予防/再発防止や、人道や開発/復興の支援などをし、理想の世界を作ってきた。だが、それでも世界は平和にならない。これには、政治の不安定さや利害の対立、歴史的遺恨、経済格差などといった、変えようのない理由があるようだ。私は今オーストラリアに住んでいるが、私自身と、オーストラリアという国の視点から見た平和について述べた上で、「私が作る平和な世界」についても提案したい。

まず、私からみた平和とはどのようなものか。私が平和について考える時、「調和」や「共生」、「整った生活」、といった言葉が浮かんでくる。これは、多様性や平等性から「起きて学校に行き、帰ってくつろいで入浴、そして就寝」などの「いつもの」日常も意味しているのだ。このように、平和と一言でいっても、さまざまな種類があるのが、私自身の考える平和だ。

今私が住んでいる国、オーストラリアには、元々たくさんの先住民たちが住んでいた。そこからオーストラリア大陸を発見したイギリス人が土地を開拓していった。また、移民がとても多いため、さまざまな人種、価値観、文化などが多く存在している。学校の休み時間に友達と自分達の文化、宗教について話したり、学校の授業でも違う文化を学ぶ。授業についても、日本語、フランス語、インドネシア語、中国語の授業があるのがほとんどだ。その授業では言語を通して、その国の文化、地形、価値観などを学ぶことができる。つまりオーストラリアでは、多様性を重視していて、それを平和につなげているということだ。

平和な世界を作るためには、まずオーストラリアのように皆が相手を理解しようとする姿勢をみせることが大切だと思う。そして、平等性や違いをポジティブに面白いと受け止めること、多様性を尊重することや、問題の対話的解決などにより、その平和を実現することができると思う。私が思うに、「平和」は「状況」ではない。それは「行動」である。一人一人が行動してみること、素晴らしい平和が築かれるのではないか。